

ごあいさつ

「高みを目指して変わり続ける東工大」



新型コロナウイルスのパンデミック発生から3年目を迎えても、いまだ収束が見通せずに、生命や健康を脅かすだけでなく、世界経済も混乱するなど、さまざまな社会変化が生じています。また、気候変動による問題が世界に与える影響も年々大きくなってきています。このようなさまざまな問題に向き合いながら、

本学は、より良い未来を見つめて最善を尽くし問題解決に取り組んでまいります。

特に気候変動問題への取り組みとして、本学では、政府が掲げた温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を2050年までに達成する目標に向けて、2021年に学内のエネルギー研究に関わる資源を集約し、非化石エネルギーとその利用システムの革新的な研究開発を行うゼロカーボンエネルギー研究所を設立しました。産官学、地域、さらに国際研究機関と連携し、持続可能なエネルギーシステムの確立に向けた課題の抽出、解決のためのオープンイノベーションによるグリーン・トランスフォーメーション研究開発を目指します。

さらに、本学は、2018年3月に文部科学大臣から指定国立大学法人の指定を受け、科学技術の最前線の開拓のための重点分野の一つである「統合エネルギー科学」の強化のため、2019年に“InfoSyEnergy（インフォシナジー）研究/教育コンソーシアム”を設立しました。“ビッグデータ科学”をさまざまな研究に積極的に活用し、企業との総合的なエネルギー共同研究を実施するとともに、人文・社会科学系の俯瞰的視点をもつ特徴的な教育プログラムおよび企業との連携によって、次世代を担うエネルギー人材を育成し、研究と教育の一体的運営を行うことを目的としており、幅広い視点によるエネルギーに関わる研究・教育を推進しています。

これらの取り組みを通じて、本学が掲げる「すべての人類、生命の存亡に係わる地球規模の重要な課題として強く認識し、未来世代とともに地球環境を共有するため、持続型社会の創生に貢献し、研究教育機関としての使命役割を果たす」との環境理念に基づき、社会の問題に応じた研究・教育の変革を踏まえて環境問題に取り組み、研究教育機関として学知の社会還元を積極的に推進することにより使命役割を果たしてまいります。

本報告書をぜひご一読頂き、本学の活動に引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022年9月

東京工業大学長

益 一哉